紀美野町第1回定例会会議録

令和5年3月7日（火曜日）

○議事日程（第2号）

令和5年3月7日（火）午前9時00分開議

- 第1 議案第28号 令和5年度紀美野町一般会計補正予算（第1号）について
第2 一般質問
-

○会議に付した事件

日程第1から日程2まで

○議員定数 12名

○出席議員

議席番号	氏名
1番	桐山尚己君
3番	藤井基彰君
4番	上柏皖亮君
5番	七良浴光君
8番	北道勝彦君
9番	向井中洋二君
10番	美野勝男君
11番	美濃良和君
12番	伊都堅仁君

○欠席議員

なし

○説明のため出席したもの

職名	氏名
町長	小川裕康君

副 町 長 細 峪 康 則 君
教 育 長 東 中 啓 吉 君
消 防 長 家 本 宏 君
総 務 課 長 坂 詳 吾 君
企画管財課長 中 前 貴 康 君
住民課長補佐 小 西 佳 子 君
税 務 課 長 坂 昌 美 君
保健福祉課長 森 谷 善 彦 君
産 業 課 長 吉 見 將 人 君
建 設 課 長 米 田 和 弘 君
教 育 次 長 曲 里 充 司 君
会 計 管 理 者 太 田 具 文 君
水 道 課 長 長 生 正 信 君
まちづくり課長 湯 上 増 巳 君
美里支所長 (湯 上 増 巳) 君
代表監査委員 菊 本 邦 夫 君

○欠席したもの

住 民 課 長 東 浦 功 三 君

○出席事務局職員

事 務 局 長 井 戸 向 朋 紀 君
事 務 局 書 記 西 本 貴 哉 君

開 議

○議長（伊都堅仁君） 皆さん、おはようございます。

これから、本日の会議を開きます。

（午前 9時00分）

○議長（伊都堅仁君） 本日、執行部から議案第28号が提出され、本会議前の議会運営委員会で調査をいただいた結果、本日の日程に追加し、本日は説明のみとして22日予定の本会議において審議・採決を行うことになりましたので、報告します。

日程に入る前に、執行部から議案に付随する説明書等の訂正の申出がありましたので、これを許可します。

町長、小川君。

（町長 小川裕康君 登壇）

○町長（小川裕康君） 皆さん、おはようございます。

議長のお許しをいただきましたので、議案の訂正をお願いいたします。

2月28日に提案説明をいたしました議案第19号「令和5年度紀美野町一般会計予算」で一部目番号が間違っておりましたので、訂正をお願いするものでございます。

この前に引き続いての訂正で誠に申し訳なく、おわびを申し上げます。今後こういうことのないように、慎重の上にも慎重に事務を進めてまいり所存でございます。

詳細につきましては、総務課長から説明いたします。よろしくをお願いいたします。

（町長 小川裕康君 降壇）

○議長（伊都堅仁君） 総務課長、坂君。

（総務課長 坂 詳吾君 登壇）

○総務課長（坂 詳吾君） おはようございます。

それでは、私のほうから説明をさせていただきます。

お手元の令和5年第1回紀美野町議会定例会提出議案に係る付随資料正誤表を御覧いただきたいと思っております。

訂正の内容につきましては、歳出予算のうち4款衛生費、1項保健衛生費における目番号を正誤表のとおり訂正するものでございます。

今後このようなことがないように内容の確認に努めてまいりますので、どうかよろしくをお願いいたします。誠に申し訳ございませんでした。

(総務課長 坂 詳吾君 降壇)

○議長 (伊都堅仁君) それでは、日程に入ります。

本日の日程は、お手元に配付のとおりです。

◎日程第 1 議案第 28 号 令和 5 年度紀美野町一般会計補正予算 (第 1 号) について

○議長 (伊都堅仁君) 日程第 1、議案第 28 号、令和 5 年度紀美野町一般会計補正予算 (第 1 号) について議題とします。

説明を求めます。

保健福祉課長、森谷君。

(保健福祉課長 森谷善彦君 登壇)

○保健福祉課長 (森谷善彦君) おはようございます。

それでは、追加で提出させていただいた議案書の 1 ページを御覧ください。

議案第 28 号、令和 5 年度紀美野町一般会計補正予算 (第 1 号)。

令和 5 年度紀美野町の一般会計補正予算 (第 1 号) は、次に定めるところによる。

(歳入歳出予算の補正)

第 1 条、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ 5,175 万 3,000 円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ 81 億 5,795 万 3,000 円とする。

第 2 項、歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、「第 1 表 歳入歳出予算補正」による。

令和 5 年 3 月 7 日提出 紀美野町長 小川裕康

なお、今回追加で計上させていただく予算は、令和 5 年度の新型コロナウイルスワクチン接種に係る国の方針が示されたため、本町においてもワクチン接種の体制を整えるため、追加予算をお願いするものでございます。

続きまして、予算に関する説明書の 3 ページをお願いします。

補正予算説明資料も合わせて御覧ください。

歳入でございます。15 款国庫支出金、1 項 2 目衛生費国庫負担金は、3,615 万 4,000 円の増額補正です。コロナワクチン接種に要する費用に対し、国から 100% 負担されるものであります。

次に、2 項 3 目衛生費国庫補助金は、1,559 万 9,000 円の増額補正です。ワクチン接種体制を整えるため、消耗品や郵便料などに要する経費に対し、国から 100% 補助されるものであります。

続いて、4ページを御覧ください。歳出でございます。

2款総務費、1項1目一般管理費は89万3,000円の増額補正です。コロナワクチン接種を実施するに当たり、会計年度任用職員2名を雇用いたしますが、雇用に伴う共済費及び職員健康診査等の委託料でございます。

続いて、4款衛生費、1項8目新型コロナウイルス感染症予防接種事業費は、5,086万円の補正です。コロナワクチン接種のため必要経費を計上させていただいております。接種のスケジュールといたしましては、国の方針に従い、まず5月から8月にかけて65歳以上の高齢者、基礎疾患のある方、また医療機関、高齢者・障害施設の従事者で接種希望者に接種いたします。また、9月から12月にかけては、5歳以上の方を対象として接種希望者に接種してまいります。

接種場所は今回も総合福祉センターでの集団接種、各医療機関での個別接種での実施をしたいと考えております。

以上、簡単でございますが、議案第28号の説明といたします。よろしく申し上げます。

(保健福祉課長 森谷善彦君 降壇)

◎日程第2 一般質問

○議長（伊都堅仁君） 日程第2、一般質問を行います。

質問者は、一つの項目の質問を終了し、次の質問事項に入る場合は、質問の区切りが明確になるように、次に何々について質問しますと発言を願います。

なお、議長の許可を得て通告項目の順を変更することができます。

一問一答方式により、質問時間は40分です。

一般質問の通告は一人です。

それでは、発言を許します。

11番、美濃良和君。

(11番 美濃良和君 登壇)

○11番（美濃良和君） おはようございます。

それでは、議長さんのお許しを得まして、一般質問を行ってまいりたいと思います。

まず初めに、小規模太陽光発電についてお聞きいたします。

環境を守るために自然エネルギーを進めることは求められることでもあります。しかし、施設を設置される地域の方々に合意を得るということは、当然求められるというふうに

思います。動木地区に進められようとしている小規模太陽光発電事業については、地元の方々に大変な不信を与えております。

先の議会で質問したが、F I T認定者と設置者との関係について、同一であったか等の確認をされたのかどうか、まずお聞きしたいと思います。

また、真の事業者は誰なのか、これもお聞きしたいと思います。

2019年の認定で7社の代表者はほとんど同じで、まさに分割案件という状況であります。その後の変更申請を出すということでもございましたけれども、どうなっているのか。いつ出したのかお聞きしたいと思います。

また、業者に対しどのような指導を町がされたのか、それについてもお聞きしたいと思います。

次に、包括業務委託についてお聞きいたします。

教育関係4業種の業務が、いよいよこの包括業務委託ということで始まるということでございます。しかし、この方式がうまくいくのかどうか。例えば心配するのは、教育という大事な職種を行政コストの抑制という観点から捉えた先進町、先に全員協議会で説明もいただきましたけれども、先進町の白浜町長の発言がそういうふうになっていきます。この考え方で、大事な紀美野町の子供たちを育成する仕事というのはどうであるのか、そういうことでよろしいのかどうかについて問題があると思います。

今後、白浜町では給食もこの方式に入れ民間委託、もう実際に聞きましたらもう民間委託は始まっているみたいですね、給食も。このシダックスという会社が紀南のほうでかなり給食のことを請け負ってやっているようでありますけれども、この給食というのは教育なんですよね。そういうふうな観点から考えるならば、これでいいのでしょうか。県下一の子育てのまちとしてこの現町長さんの下に進められている、まさに他の県下の皆さん方から紀美野町は先進だというふうに言われる、そういうふうな教育を進めていくという観点から、この包括業務委託というのはどうであるのかお聞きしたいと思います。

次に、残土処理場にかかわる地域対策についてお聞きいたします。

残土処理施設にかかわって、地域に対しての迷惑な問題が起こっていますが、特に神野市場周辺の地域に対して、このダンプの通行による問題が起こっております。一日に何百台もダンプカーが通れば、道路や周辺の家にも影響が出ます。事前・事後の比較ができるような処置をされているのか。

これについては、以前国道370号線の桂瀬トンネルができましたが、その掘削のときに近くの家には大きな衝撃波による亀裂等が起こったようであります。そういうことについて、やはり事前にどのような状態であるのか、それを把握しておかなければ、その後問題が起こったとしてもどのように変わったのかということがはっきりされないということから、そういうふうな事前・事後の問題についても比較の処置がされているのかどうか、また、当然今現在の苦情等について把握されているのかも聞きたいと思います。

最後に、消防の分署についてお聞きいたします。

他の議員さんもこのことについてお聞きしておりますけれども、私も以前、美里町時代からこの消防の分署についてお聞きしてまいりました。現在紀美野町となって、東西三十数キロというふうな広い地域になりまして、当然そのことについての心配される方々があるわけであります。

そういうことから町のほうも対応いたしまして、救急車のパトロールあるいは小西地区に一定時間の救急車を置くというふうな取組もされています。さらに、今後全町的な対策として、分署に対する取組についての考えを聞きたいと思います。

以上4点、よろしく願いいたします。

(11番 美濃良和君 降壇)

○議長（伊都堅仁君） それでは、美濃良和君の質問に対する当局の答弁を求めます。

住民課課長補佐、小西君。

(住民課長補佐 小西佳子君 登壇)

○住民課長補佐（小西佳子君） 美濃議員の一つ目の御質問にお答えします。

先の議会で答弁させていただいたとおり、国の固定買取制度、いわゆるFIT制度を活用する事業者は発電事業者として申請し認定を受けるものでありますので、認定者と条例に基づく事業計画上の設置者は当然同一であるべきと考えております。

動木地区の太陽光発電事業についてもFIT制度による発電事業でありますので、資源エネルギー庁の公表用ウェブサイトを逐次確認しておりますが、この7件についてはまだ変更が公表されていないため事業者へ確認をしたところ、申請は既に行っているがまだ認定が下りていないとのことでありましたので、申請書の写しの提出を求めました。また、認定が下り次第、認定書の写しを提出するよう指導しています。

現在、5件分の申請書の写しは町へ提出されており、確認できています。後の2件についても提出をするよう指導しています。

また、真の業者は誰かという御質問に関しては、町としましては、条例に基づき届出された事業計画書に記載の事業者であると認識をしています。なお、事業計画書に記載の事業者に変更がある場合は、条例に基づき再度町との事前協議を経て地元説明を行い、事業計画変更届を提出することになります。

事業者には、条例に基づき地元地域住民の皆様の不安や疑問等に対して、丁寧な説明を引き続き行うよう指導をしているところでございます。

以上、答弁といたします。御理解いただきますようお願いいたします。

(住民課長補佐 小西佳子君 降壇)

○議長（伊都堅仁君） 教育次長、曲里君。

(教育次長 曲里充司君 登壇)

○教育次長（曲里充司君） 美濃議員の2番目の包括業務委託についてお答えさせていただきます。

行政事務等包括業務委託とは、個別バラバラに業務を発注するものではなく、まとめて包括的に業者委託する手法のことで、多様化する住民ニーズに対応し、住民サービスの向上を図りながら行政サービスの効率化を図る目的で進められています。

当町では、人口減少による新たな人員確保に非常に苦慮しており、その困難さが年々増してきています。このままでは事業の継続が危ぶまれる可能性も考えられます。

そこで、安定した事業の継続、現在勤務している方々の優先的な採用や今後の町民の優先雇用、もしものときのバックアップ体制のための代替スタッフの確保などを条件に付して、より専門性を発揮できる事業者を選定し、質の高い事業実施に向け取り組むことになりました。

既に、町教育委員会と受託事業者からの関係者への説明や転籍者への個別面談が終了しました。現在、業務に携わっていただいている学校教育支援員、学校校務員、学童保育指導員、スクールバス・町バス運転手の全ての皆さんが、引き続き令和5年4月からも業務に従事していただけると聞いております。令和5年4月以降も今までと変わらず、事業の実施に万全を期してまいりたいと考えております。

なお、給食調理業務については、現在包括業務委託については考えておりません。

以上、包括業務委託についての答弁とさせていただきます。

(教育次長 曲里充司君 降壇)

○議長 (伊都堅仁君) 建設課長、米田君。

(建設課長 米田和弘君 登壇)

○建設課長 (米田和弘君) 私からは、美濃良和議員御質問の3番目、残土処理にかかわる地域対策についてお答えさせていただきます。

紀美野町の建設残土処理場につきましては、国道370号改良工事をはじめとした公共事業等の推進のために、安全に十分留意し運営していますが、搬入出に係る車両の問題や地域へ土砂を搬入させることへの不安など、沿線にお住まいの皆様には御心配や御迷惑をおかけしていることに対し、大変心苦しく感じてございます。

議員御質問の国道370号神野市場付近については、建設残土処理場からの土砂の搬出等による砂ぼこりが慢性的に発生し、また現在は大雪による塩化カルシウムの大量散布により土砂が路面にこびりついている状況であるため、通常より路面の汚れが続き、地域住民の皆様には大変御迷惑をおかけしており、新宮橋から美里支所を経て、平成大橋の県管理である国道370号区間の特に民家周辺では、ほこりや運転マナー、騒音・振動等の御要望や御意見に対しまして周辺地域への御迷惑を軽減するため、警備員の配置・散水車による散水を実施し、ほこりの飛沫防止や路面清掃車による砂ぼこりなどの除去、搬入車両通行においては強く最徐行の徹底など、また国道等の損傷などについては随時現状を確認し、県と連絡を密に行うことで補修等を行っていただき、環境改善に努めているところであります。

なお、車両の交通による周辺の影響ですが、県が適正に管理している通行規制のない道路であるため、どのような車両も通行することが可能となっており、特定の車両について通行を制限することは困難であり、事前事後の比較ができるような処置は特に行っておりませんが、現地状況の確認や調査は適宜行っているところです。

今後も、地域のインフラ整備を促進させるため建設残土処理場は欠かせない施設でもありますので、地域で生じている様々な御心配・御不安である事柄をしっかりと受け止め、今後も引き続いて県の仮置き場とともに対策をしっかりと徹底してまいりたいと考えますので、御理解賜りたいと存じます。

以上、簡単ではございますが、答弁とさせていただきます。

(建設課長 米田和弘君 降壇)

○議長 (伊都堅仁君) 消防長、家本君。

(消防長 家本 宏君 登壇)

○消防長 (家本 宏君) それでは、美濃議員の消防の分署についての御質問に御答弁申し上げます。

分署の必要性については、いろいろな角度から今までも何度か御質問をいただきまして、十分理解をしているところです。しかしながら、財政面や現有消防力等を鑑みますと、現状においては、国から示されました消防の広域化に関する基本方針に基づき問題解決することが最も適切な方法であると考えており、現状の取組を今後も継続していきたいというふうに思っておりますので、御理解を賜りますようよろしくお願いいたします。

以上、答弁とさせていただきます。

(消防長 家本 宏君 降壇)

○議長 (伊都堅仁君) 以上で、一回目の答弁が終わりました。

これより、自席で起立して質問・答弁をしてください。

11番、美濃良和君。

○11番 (美濃良和君) この太陽光の問題でございますけれども、先ほど答弁の中で三つが残っていると言われましたか、それについてもう一度お聞かせいただきたいと思えます。

○議長 (伊都堅仁君) 住民課長補佐、小西君。

○住民課長補佐 (小西佳子君) 5件分については、申請書の写しをいただいております。あと2件分について申請書の写しがもらえていない状態でありますので、早急に出すよう指導をしております。

以上です。

○議長 (伊都堅仁君) 11番、美濃良和君。

○11番 (美濃良和君) これは、すみません。要するに5件もらっているけど、あと二つ残っていると。これについては町への申請ですか。どこの申請ですか。もう一度お願いいたします。

○議長 (伊都堅仁君) 住民課長補佐、小西君。

○住民課長補佐 (小西佳子君) この申請書というのは、経済産業省のほうへの申請でございます。

○議長 (伊都堅仁君) 11番、美濃良和君。

○11番（美濃良和君） そうすると、このIDとの関係では、IDって何て言うんですか、ローマ字とそれから数字が混ざったあれですね。これについては、そうすると2社についてはまだもらっていないと、こういうふうになるわけですか。

○議長（伊都堅仁君） 住民課長補佐、小西君。

○住民課長補佐（小西佳子君） はい、そのとおりでございます。

○議長（伊都堅仁君） 11番、美濃良和君。

○11番（美濃良和君） こうなってくると、この会社は実際にこの業務ができるのかどうか、その辺はどうですか。

○議長（伊都堅仁君） 住民課長補佐、小西君。

○住民課長補佐（小西佳子君） 申請書の写しはまだいただいておりませんが、申請段階であるということでもありますので、そこは問題ないかと思えます。

以上です。

○議長（伊都堅仁君） 11番、美濃良和君。

○11番（美濃良和君） 申請段階でも仕事ができると、こういうことになるんですか。

もう一つは、町としてうちの条例を提案をさせていただいてつくられたわけですが、すけれども、これは目的にあるように本町の豊かな自然環境、美しい景観及び町民の安全で安心な生活環境と、それからこの再生可能エネルギーと調和を図っていくということで、まず初めにこの美しい景観と町民の安全ということが前提でありますけれども、そういうふうな条件が整わなくても進めていけるわけですか。

もう一つなのが、この事前協議で要するに町は業者から受け付けたわけですが、その段階なんていうのは、まるっきりそういうIDも何もない状況で受け付けていったということになってきますよね、そうやってまいりますと。

これはどうであるんですか。町長さんにお聞きしたいと思うんです。補佐ちょっと、課長さんちょっと時間が足りないと思いますので、よろしくお願いします。

○議長（伊都堅仁君） 町長、小川君。

○町長（小川裕康君） 美濃議員の御質問にお答えをいたします。

議員は条例のこともおっしゃっていただきましたけれども、この件につきましては町には許可権・認可権はありませんけれども、町内で太陽光発電を設置されるについては、地域の住民にきちんと説明をして理解をいただいでくださいね、その上で町へ申請・届

出をしていただくということで進めてまいっております。

先ほどから補佐が申し上げたように、当然申請は、F I T申請は国へ出されるわけなのでありますが、その上で町に対しては条例に基づき地域住民との説明会を終えた、そうしたものであって届出を出してくださいというふうに進めてきておりますので、その手続にのっとって進めていただいている。

ただ、その中で補佐も申し上げたように、7件のうち5件の写しはいただいておりますが、残り2件についてはまだいただいておりますので、できるだけ早く提出してくださいということを指導しておりますし、もともと従来からは地域の方々に誠実に説明をということの指導はしてまいったところであります。

以上です。

○議長（伊都堅仁君） 11番、美濃良和君。

○11番（美濃良和君） 我々は考えなければならないのは、まず町民の安全・安心とそれからこの環境を守る、これが前提じゃないんですか。別にどうぞどうぞと業者をF I Tじゃなくて自分がつくって自分が使うっていうんじゃないんでしょう。地産地消という言葉がありますけれども、地産地消でまさしくやっていくというんじゃなくて、業者がもうけに来るんでしょう。それをどんどんとまず同等に考えるということはちょっとおかしいんじゃないですか。その辺はどうでしょう。

○議長（伊都堅仁君） 町長、小川君。

○町長（小川裕康君） お答えいたします。

議員も言われているように、目的にはそういった形で豊かな自然環境、美しい景観及び町民の安全で安心な生活を守ると、そういうことをもちろん目的としてうたっております。まず安全でなければいけないということでそういう施設、太陽光発電については再生エネルギー施設ということで、それは全く否定もすることではありませんけれども、やはり安全な施設でなければ、それによって地域住民の方々の生活が脅かされるものでは、そういうものであっては駄目ですよということは大前提で進めております。

さらに、地域の住民の方々の御理解をいただいでくださいねということで、そういう形で進めてきております。この条例の目的とすれば、もともと50キロワット未満は全く何も規制するものはない、50キロワット以上は県への届出ということがあります。50キロワット未満については何の規制もないということで、条例整備を皆様と一緒に進めて、そして安全な施設を設置してもらおうということを大前提で進めてまいってきま

した。

さらに申し上げますと、先ほどから申し上げているように、地域住民の方々にもきちんと説明して理解をいただいでくださいねということで進めてきたところでもありますので、それが条例目的にはなるかと思えます。

以上です。

○議長（伊都堅仁君） 11番、美濃良和君。

○11番（美濃良和君） この件につきまして、この認定失効というのがあるんじゃないですか。これはどうですか。

○議長（伊都堅仁君） 住民課長補佐、小西君。

○住民課長補佐（小西佳子君） 認定といいますか、まず町との事前協議をしていただいでから近隣住民への説明をしていただき、そのあと事業計画の提出ということになっております。認定というよりは、その事前協議をした後に近隣住民への説明を十分したかということを確認して、提出書類の中にもその議事録をつけていただいで事業計画を提出していただきます。そして、それを確認した後に、こちらのほうでも町のホームページへ掲載させていただくという段取りになっております。

以上です。

○議長（伊都堅仁君） 11番、美濃良和君。

○11番（美濃良和君） そうすると、まだ事業申請はできていないと、こういうことですか。

○議長（伊都堅仁君） 住民課長補佐、小西君。

○住民課長補佐（小西佳子君） 今、その動木地区に関しては事前協議が終わりまして、住民への説明ということで行っていただき事業計画も出ているんですが、その後変更があった部分について変更申請を出していただくことになるんですが、それがまだ途中ということになっております。

○議長（伊都堅仁君） 11番、美濃良和君。

○11番（美濃良和君） 要するに、2件についての変更ですね。

○議長（伊都堅仁君） 住民課長補佐、小西君。

○住民課長補佐（小西佳子君） 変更申請は2件はもちろんまだなんですが、変更申請はそうですね、ちょっと確認させてもらってもいいですか。

○議長（伊都堅仁君） 住民課長補佐、小西君。

○住民課長補佐（小西佳子君） 先ほど申しあげましたとおり、5件分については経済産業省のほうに変更申請をしているという申請書の写しはいただいておりますが、まだ経済産業省のほうで認定が下りているという段階ではないということです。

以上です。

○議長（伊都堅仁君） 11番、美濃良和君。

○11番（美濃良和君） そういうふうに非常に曖昧なことでいいのかどうかというふうに思うんですね。

ちなみに、今出てきている業者、今七つの業者があるということでございますけれども、町への申請時から出てきている業者はどの業者なんですか。

○議長（伊都堅仁君） しばらく休憩します。

休 憩

（午前 9時39分）

再 開

○議長（伊都堅仁君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

（午前 9時42分）

○議長（伊都堅仁君） 住民課長補佐、小西君。

○住民課長補佐（小西佳子君） 最初の設置者から変更があるのは、1社のみとなっております。

○議長（伊都堅仁君） 11番、美濃良和君。

○11番（美濃良和君） 1社というのはどこですか。その1社が来て、全部の申請を持ってきて受理してくれと、こういうふうに町のほうに申請が来たんですか。

○議長（伊都堅仁君） 住民課長補佐、小西君。

○住民課長補佐（小西佳子君） どこの業者かと言いますと、1社の名前は株式会社森川ネクストエネルギーから、株式会社チェンジ・ザ・ワールドになっております。

○議長（伊都堅仁君） 11番、美濃良和君。

○11番（美濃良和君） この社長は誰ですか。

○議長（伊都堅仁君） 住民課長補佐、小西君。

○住民課長補佐（小西佳子君） 株式会社チェンジ・ザ・ワールドの代表者は、池田友喜さんになっております。

- 議長（伊都堅仁君） 11番、美濃良和君。
- 11番（美濃良和君） 最初に来たのはこの方ですよね。会社の名前は違うけれども、池田友喜が来たんですか。
- 議長（伊都堅仁君） 住民課長補佐、小西君。
- 住民課長補佐（小西佳子君） はい。最初の株式会社森川ネクストエナジーの代表の方は森川融さんとなっております。
- 議長（伊都堅仁君） 11番、美濃良和君。
- 11番（美濃良和君） それと、この会社の方が来たということですが、そうすると後の6社の方はいまだ来ていないと、こういうことですか。申請というのはどういうふうなことになるんですか。一人が1社分だけということですか。
- 議長（伊都堅仁君） 住民課長補佐、小西君。
- 住民課長補佐（小西佳子君） 先ほどから言っている申請というのは、経済産業省へのFIT認定の変更の申請でございます。うちへは申請ではなく、事前協議を経て事業計画書の提出をしていただいているという状態です。
- 議長（伊都堅仁君） 休憩します。

休 憩

（午前 9時46分）

再 開

- 議長（伊都堅仁君） 休憩前に引き続き会議を開きます。
- （午前 9時48分）
- 議長（伊都堅仁君） 住民課長補佐、小西君。
- 住民課長補佐（小西佳子君） 町に提出されているものは同一の方であります。
- 議長（伊都堅仁君） 11番、美濃良和君。
- 11番（美濃良和君） 同一ってというのは、具体的に町の協議を申し込んできた、協議ですね。始めに出てきた町に出てくる申請というのは、協議の前の申請ですよね。この申請ってというのはどこが出してきたのか、その辺についての確認をさせてもらっているんです。
- 議長（伊都堅仁君） 町長、小川君。
- 町長（小川裕康君） 少しややこしくて申し訳ございません。整理いたしますと、

申請というのは経済産業省のはF I T申請であり、町に対しては事業計画の提出を出してくださいねと言っているときに、その事業計画の事業者とF I T認定の申請者は当然同じ人でなければいけない、まず大前提なんですよ、それは。それはそのとおりでありますので、そして7社が今F I T申請の変更申請を出しているということで、その申請書のまず写しをくださいよっていつ今もらっているのが5社でありまして、あとの2社についても、出すやつの写しを早くくださいということは業者に強く指導しているということでもあります。

F I T認定申請、変更申請の認定がまだ下りていないということで、今の段階では下りていないということでもあります。

以上です。

○議長（伊都堅仁君） 11番、美濃良和君。

○11番（美濃良和君） このちょっと前に課長さんにお聞きしに行ったら、7社がある中で今こちらに来ているのは梅野という方が来ていると、代理のように。そして、先の第1回目の動木の説明会では、小浜という方がわしは代表ということでおっしゃってました。

そのことについて、町についてはそれをどのように受け止められているのか、要するに町のほうへ今町長さんが言われるように、事前協議の申請をしてきたのは要するに誰であるのか、その辺をお聞きしているんです。

○議長（伊都堅仁君） 町長、小川君。

○町長（小川裕康君） ただ今、美濃議員から梅野さんというお名前も出ましたが、この方は届出の代理人ということでもあります。事業計画者、申請者でもなく単なる代理人ということでありまして、事業計画者に当然事業者名が記載されるわけですよ。事業計画者に記載されている事業者っていうのは、F I T認定の変更申請をしている方と同一人物でなければいけないとそういうことです。

○議長（伊都堅仁君） 11番、美濃良和君。

○11番（美濃良和君） では、このことについて進めてられるのは、7社が基本的に、もう一回聞きますよ。7社がそれぞれに事前協議をうちの町に求めてきているんですか。誰かが代表してきているということであるのか、その辺はどうですか。

○議長（伊都堅仁君） 休憩します。

休 憩

(午前 9時53分)

再 開

○議長 (伊都堅仁君) 休憩前に引き続き会議を開きます。

(午前 9時55分)

○議長 (伊都堅仁君) 住民課長補佐、小西君。

○住民課長補佐 (小西佳子君) 説明会に出席していただいたのは全員ではなく、その代理人の方と、あとクリエイティブ・リアルティの小浜さん、輝産業の中山さん、太田エコファームの太田さんというふうになっております。

○議長 (伊都堅仁君) 11番、美濃良和君。

○11番 (美濃良和君) 町へ言うてきたのは誰かって聞いているんですけど、さっきから。

○議長 (伊都堅仁君) 休憩します。

休 憩

(午前 9時56分)

再 開

○議長 (伊都堅仁君) 休憩前に引き続き会議を開きます。

(午前 9時57分)

○議長 (伊都堅仁君) 住民課長補佐、小西君。

○住民課長補佐 (小西佳子君) 事前協議に役場に来ていただいたのは、申請代理人の梅野さんです。

○議長 (伊都堅仁君) 11番、美濃良和君。

○11番 (美濃良和君) このややこしい話、補佐に大変申し訳ないんですけど、すみません。その梅野が来たのは代理人ということですが、その課長さんもしかそのことについて、各7社の代わりに来る場合はそれなりのあれが要りますよね、私はその代わりで来ましたっていう。単に持ってきたというだけなんですか。その辺はどうなんですか。

課長の言われたのは、それが正しいわけですかね。

○議長 (伊都堅仁君) 住民課長補佐、小西君。

○住民課長補佐（小西佳子君） 事前協議の協議申請書というものがあまして、
そこの申請人というところに梅野さんのお名前があつて、設置者はまたそれぞれの事業者さんということになっております。管理者として太田エコファームさんとなつておりまして、その事前協議申請書というところの申請人のところが梅野さんになっていて、梅野さんが提出していただいたということです。お願いします。

○議長（伊都堅仁君） 11番、美濃良和君。

○11番（美濃良和君） 大変ややこしい話を事例にさかのぼってすみません、ありがとうございます。

それで、先ほどからお話のとおり、7社が7つのブロックというんですか、経営しようというふうにされているわけですが、要するに500キロワット未満と。これは規制緩和みたいなもので、本来ならばこのことについて十分な例えば環境アセスメントとか、そんなものをした上でやっていかなきゃならんわけですが、この50キロワット未満ならばそういうふうなものも要らないとか、非常に簡易に運営がしやすくなると、そういうことでいろいろとあちこちのところで問題が起こっているわけですが、JP-ACというこれは経済産業省の下請というんですか、代行申請センターですね。そういうふうなところがございます。

この代行申請センターがやるんですけれども、その代行申請センターも十分に調査ができていないと。全国でたくさんのこの調査をできていないので、このJP-AC自身が告白しているんですけれども、これはちょっと前の平成26年5月から11月末までの間に、全国で1,639と1,451、合計3万2,813、これについては分割案件のおそれがあつて特段の理由の説明が必要であると考え、理由の確認が必要であると考えられる設備数と、それからJP-ACが特段の理由の確認を行っていない設備数と、これが合わせたら3万2,000あるんですね。そのうち、近畿ではこの分割案件のおそれがあつて、特段の理由の確認が必要であると考えられる設備数というのが149で、特段の理由の確認を行っていない設備数が130やと。こんだけあるんですね。

今どんどんと申請が増えていきますから、この数字ももっと増えているかも分かりませんが、こういうふうに我々が頼りにする経済産業省でも、経済産業省の代わりにこの仕事をやっているJP-ACが、自分らは十分にやっていたとこれを告白しているんですね。そんなものをうちの町に持って来られて、そして今後やられていくということについては、非常に問題があるというふうに思うんですよ。

前にも質問したとおり、くいの抜く試験をやりましたけれども、これについても高いですからね。この下で柵をつくるっちゅんでしょ。だから、高いこの施設ですから当然モーメントっていうんですか、風が吹けば動きますよね。一番固いところと中にはやわらかいところもあるわけでございますけれども、それで普通に引っ張っても簡単に抜けるような状態であったというのが一部あったというふうに思います。そういうふうな心配もあったり、いろいろと地域の方々が心配されているわけですがけれども、これこんなもの進めていいのかどうか、その辺はどうなんですか。

○議長（伊都堅仁君） 町長、小川君。

○町長（小川裕康君） 美濃議員の御質問にお答えをいたします。

ただいまおっしゃられたくいの話も聞いております。町とすれば、このもちろん条例にもありますように、地域の方々にきちんと説明して理解をいただいでください、誠実な対応をしてくださいということもう口酸っぱく指導しているところで、町とすれば、できることは許可権・認可権もないということでもありますので、そういった条例に基づいて、適正に誠実に地域の方々と向かい合ってくださいということになるかなというふうに思っております。

以上です。

○議長（伊都堅仁君） 11番、美濃良和君。

○11番（美濃良和君） 私、今日は町長と対立した質問をするつもりでなくて、お互いに町民の安全安心、それから皆さん方、うちもそうですよね。役場かてそのすぐ下に張られていくんですから、景観の問題が非常に心配されるわけでございますけれども、そういうふうな統一したこの町を守るというふうな観点からして、ここのところは十分であるのかどうか。ですから、本来ならばこの50キロワット未満の小規模太陽光発電のやり方で偽装されていると、そういうふうな心配があるわけでございます。

先ほどからお話ししているように梅野氏がやってきて、そしてその申請を出してきたと。後の説明会では、小浜という方がわしが代表やというふうなことを言ってやられてきましたけれども、等々を考えたら、これは本来は1社であって、そして1社の方が十分な普通のメガソーラーと同じような、簡単に言ったらそういうふうな手続をとっていかなきゃならないのに、そうじゃなくてこの偽装といいますか、分割案件という形で7つに割ってきていると。これを許すのかどうかという点であるのが、今住民の方々も非常にこの心配をしているところなんですよ。

そういうふうなところから見て、もう一度それ見直しをかけなければ後で大変なことになるんじゃないか、こういう心配がされます。それについてどうですか。

○議長（伊都堅仁君） 住民課長補佐、小西君。

○住民課長補佐（小西佳子君） 議員御質問の分割案件についてなんですが、まず町へ事前協議いただいた段階で県に問い合わせもしまして、分割案件で県条例の範疇ではないかということを確認しましたが、分割案件ではないということでありましたので、町の条例に基づいて町に届出をしてもらうということになっております。

それで、7施設の発電事業ということになりますので、それぞれ個々にFITの事業認定を変更しているところではありますが、認定を受けているということでありましたので、分割案件としては取扱いはないということで進めております。

以上です。

○議長（伊都堅仁君） 11番、美濃良和君。

○11番（美濃良和君） そういうふうな形になってくる、県とやっているとそうなると思うんですね。県は何せ、この50キロワット未満はうちは知らんと、そういうことを盛んに言われて、市町村のほうにやってくれと、こういうふうにも県のほうに行かしてもらったらそのように言われましたけれども、これは非常に私は怠慢であるというふうに思います。もっと真面目に対応してもらおう。

しかも今、このように疑わしき所がたくさんあるんですね。一人の方が出てきて全体のことを申請したり段取りしていくって、これ何でしょう、まさに偽装でしょう。しかも、もともとが第1回目の国への経済産業省の申請を見ても、申請者の方々はうちとはまるっきり関係ない。しかも、外国人の名前の方が非常に多い、そういうふうな会社が多いんですね。もちろん外国人であってもそれはいいんですけども、こういうふうなまさに近くに、我々がすぐ話のできる方々がやってくれば、非常にその後のメンテナンスも含めれば、いろんな支障が起こったときに対応できると。

こういうふうにも考えても、この会社がそうである、そのように仲よく付き合いけるんかどうかってそういう心配もされます。大体うちまでわざわざ来てやらんでもいいわけでしょう。それが、ここまで来てやってくると。そういうことで、やはりこれについて十分に、毎回でも調査する必要があるんじゃないですか。

先に、言いましたようにJP-AC、このところの確認の中にうちのこれは入るんじゃないか、そのことについての確認もしてもらいたいということで要請はできません

か。単に県がこういうからもう仕方ないんだよということでは、これはあまりにも住民の方々が気の毒であるというふうに思います。確たるこういうことで心配要らないと、そういうふうなことについて町も対応していかなきゃならんのじゃないかというふうに思いますが、その辺についてお聞かせいただきたいと思います。

○議長（伊都堅仁君） 町長、小川君。

○町長（小川裕康君） 美濃議員の御質問にお答えをいたします。

紀美野町へ来て太陽光を設置する、そのことに関しては、もちろん町としてはとにかく言えない話でございます。それと、もともと50キロワット未満については全く何ら規制がされないというような案件の中で、やはり紀美野町とすれば環境を守る安全な施設でなければいけないというそういったことから、皆さんと協力して条例を整備して、これは去年の1月から施行したものでありますが、条例を整備して町民を守る、そして環境を守るという大前提で進めてきたところであります。

ただ、先ほども申し上げたように、町とすれば許可権もない、認可権もないという中で、じゃあできることは何かなということで、うちからは業者に指導をして、きちんと住民の方々に丁寧に親切・誠実に向き合って説明会をして理解を求めてくださいと。その上で町に対して届出書を提出してください、そうでなければ受け付けませんということで進めてきたところであります。

そういうことでありますので、今議員がおっしゃられるように議員の気持ちももちろん我々も分かるんですが、今のこの制度の中で言えば、町とすればできることは一生懸命やってきたし、まだまだこれからも進めてやっていきたいなという思いで、以上答弁とさせていただきます。

以上です。

○議長（伊都堅仁君） 11番、美濃良和君。

○11番（美濃良和君） すみません、それから関西電力につながなきゃならんわけですよ、接続していかなければ意味がないと。それについて、これが一つの条件になっているというふうに思うんですけども、それはされているんですか。これは全て申請がされて関西電力のほうは受けられているのか、その辺はどうでしょう。

それをまず聞きたいと思います。

○議長（伊都堅仁君） 住民課長補佐、小西君。

○住民課長補佐（小西佳子君） その辺については、町では把握しておりません。

○議長（伊都堅仁君） 11番、美濃良和君。

○11番（美濃良和君） いろんな条件があると思いますから、その辺についての把握をすることはやってもらえませんか。

それから、先ほどの2件というのは、番地で言うたら330番地と331の1のこの2件でしょうかね。

○議長（伊都堅仁君） 住民課長補佐、小西君。

○住民課長補佐（小西佳子君） 未提出の2件につきましては、動木468の1と動木335番地となっております。

○議長（伊都堅仁君） 休憩します。

休 憩

（午前10時16分）

再 開

○議長（伊都堅仁君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

（午前10時17分）

○議長（伊都堅仁君） 住民課長補佐、小西君。

○住民課長補佐（小西佳子君） 関西電力のほうへの確認のほうなんですけども、できるようにしてみます。

（発言する者あり）

○議長（伊都堅仁君） 住民課長補佐、小西君。

○住民課長補佐（小西佳子君） 確認してまいります。

○議長（伊都堅仁君） この件は終わり、まだあるの。

11番、美濃良和君。

○11番（美濃良和君） それでは、いろいろと御努力お願いしたいと思います。

○議長（伊都堅仁君） 次が変わるんですか、次の件が変わる。はい、次にいきます。

○11番（美濃良和君） 次に包括業務委託に移るって今言いかけたら、議長が止められたので。

○議長（伊都堅仁君） 教育課に代わるんやったら、しばらく休憩します。

休 憩

(午前10時18分)

再開

○議長（伊都堅仁君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

(午前10時31分)

○議長（伊都堅仁君） 11番、美濃良和君。

○11番（美濃良和君） 次に、包括業務委託についてお聞きしたいと思います。

この教育関係4業種の業務がいよいよ始まるということでありましてけれども、このところで、答弁では給食はその中に入っていないということでしたよね。

それから、今実際に関係する、今働いている方々との話し合いというんですか、そういうのをされたというふうに聞きますけれども、そのこのところでの問題はなかったのか。それはどうでしょう。

○議長（伊都堅仁君） 教育次長、曲里君。

○教育次長（曲里充司君） 会計年度任用職員さん、個人事業主さんとの話上の中で何か問題がなかったのかということでしたが、協議、説明会の中では特段その問題というわけではなく、もともと包括業務委託とはということで知らなかった部分もありますので、そこら辺の関係での質問はいろいろいただいたところです。結果、皆さんが包括業務委託に納得をしていただいて、業者さんのほうへ転籍されるということで、移行されるということで現在聞いておるところでございます。

以上です。

○議長（伊都堅仁君） 11番、美濃良和君。

○11番（美濃良和君） この辺では、この包括的民間委託ということはやられている自治体、近辺にはないんですよね。ですから、あまりそういう話が働いている方々もよく分からんと。私ら自身もこれを聞いてまさに寝耳に水というんですか、橋本とそれから白浜ということであったので本当に知らなかったんですけども、実際に働いている方々もよう分からんというのは実態じゃないんですかね。前にも言いましたように、大阪のほうで雇い止めの問題があってもめたということでございますけれども、そういうふうな問題等についてはどうなんですか。

○議長（伊都堅仁君） 教育次長、曲里君。

○教育次長（曲里充司君） 業者さんとは事前に現の会計年度任用職員さん、事業

主さんの方とは面談をしていただいて、いろんな質問・疑問に対して業者さんのほうから丁寧に回答をしているということで、現在聞いております。

包括業務委託、先ほども説明はさせていただきましたが、業務を一括して委託する、それを包括業務委託と申し上げますので、それぞれの業務一つ一つについて業務委託を行っている。それで雇用の事務を相手さんの企業さんのほうで賄っていただくということになります。

以上でございます。

○議長（伊都堅仁君） 11番、美濃良和君。

○11番（美濃良和君） この例えば学童保育、支援員さんもそうでしょうけれども、子供に直接関わっていく業務であるかというふうに思います。このところで十分にいけるのかどうか、それから非常に私ら外から見ていると何ていうんですか、ソフトな部分というんですか、非常に子供たちと触れ合うことについて十分ソフトにやっっていかなきゃならんというふうに思いますけれども、その辺のところはどういうふうに問題なくやっっていけるのかどうかについては任すんですからね。会社に任すんですから、町のほうがそれに対して対応できなくなるということになりますけれども、その辺はどうですか。

○議長（伊都堅仁君） 教育次長、曲里君。

○教育次長（曲里充司君） あくまでも事業を変えるという目的で包括業務委託を進めるものではございません。ですので、現に従事していただいている方を、そのまま引き続き今までどおりの事業へ従事していただいた中で事業を進めてまいるということでございますので、御理解賜りたいと思います。

○議長（伊都堅仁君） 11番、美濃良和君。

○11番（美濃良和君） 引き続き事業をやるということなんですけれども、会社がやるんですからね。あくまでも会社の方針の下にやっっていくということになってくる。それと、もう一つは会社は当然コスト、お金をもうけるということが目的であるんですから、その辺のところを考えると十分に問題がなくいけるのかどうか、その辺はどうでしょう。

○議長（伊都堅仁君） 教育次長、曲里君。

○教育次長（曲里充司君） こちらのほう、業者の選定の段階で、現状の給与額は確保するという条件の下に現在選定を行っているところです。もちろん会社自

身の様々な軽費も発生しますので、そこら辺は別途管理費として幾らかの額をお支払いするということで、決してその会計年度さんの額、個人委託の事業主さんの額が減らされるという問題はありません。

以上でございます。

○議長（伊都堅仁君） 11番、美濃良和君。

○11番（美濃良和君） その数字が、これは全員協議会のときにいただいた資料なんですけれども、ちょっとこのように今下がっているようなんですが、令和5年から令和7年まで、それぞれ7,600万円あまりをシダックスに渡していくということになるんですよね。それで、令和4年度の予算では6,200万円だったということからしたら、1,400万円ほどシダックスに渡して、そして今までの業務をやってもらうと。こういう数字の上ではそういうことになるんですか。

○議長（伊都堅仁君） 教育次長、曲里君。

○教育次長（曲里充司君） ちょっと今美濃議員のおっしゃっている数字で今回、今年の令和5年度の契約額でいきますと、7,300万1,100円というのが契約の総額にはなります。ですので、もともとそれぞれ学童保育費、学校教育支援員それから学校校務員、スクールバス・町バスの委託料につきましては、社会保険料等その科目では計上しておりませんでしたので、そこら辺の経費についても委託料としては積算されるということで、委託の中にはのせております。

以上でございます。

○議長（伊都堅仁君） 11番、美濃良和君。

○11番（美濃良和君） それともう一点は、この会社が令和7年までですか、5、6、7、3年間ですね。3年間経ったときに、これはもう一度再募集、募集をして、そしてそこで入札なりで相手会社を決めるとこういうことになるんですよね。

○議長（伊都堅仁君） 教育次長、曲里君。

○教育次長（曲里充司君） 現在のところは、令和5年・6年・7年度の3年間を委託するということが決定されている事項になります。それから先の分につきましては、委託状況等をこちらのほうでも見せていただいて、引き続きまた公募をかけるのかどうかというの、また判断はさせていただきたいなと思っております。

○議長（伊都堅仁君） 11番、美濃良和君。

○11番（美濃良和君） そうすると、3年後の再契約についてはこのままいく可

能性もあると。実際にそこに矛盾があるかというふうに思うんですが、もし変わってしまった場合に今働いている方々はどうなるのか。会社が変わって、新しい会社が新しい従業員を連れてこの仕事をするってということもあり得ないでしょうし、その辺はどうなんでしょうか。

○議長（伊都堅仁君） 教育次長、曲里君。

○教育次長（曲里充司君） 事業委託になりましても、現在の会計年度任用職員さん、個人事業主さんがそのまま新しい会社のほうへ従事していただくということで、今回包括業務委託を進めてまいります。ですので、その業者さんが何かしらの理由で継続できないということでありますと、また現の職員さんが町のほうに帰ってくる、戻ってくるというような形にはなりますので、決してその事業の継続性が危ういというのではなく、あくまで今従事していただいている方によって事業が継続できるというもので考えております。

以上でございます。

○議長（伊都堅仁君） 11番、美濃良和君。

○11番（美濃良和君） そうすると、結局一旦入ってしまえば、要するにそのままいってしまう可能性も非常に強いわけですね。

○議長（伊都堅仁君） 教育次長、曲里君。

○教育次長（曲里充司君） 先ほども申し上げましたが、あくまで令和5年・6年・7年度に関する包括委託でございますので、その先の部分については現在のところちょっと分からないというか、答弁は差し控えさせていただきたいと思っております。

○議長（伊都堅仁君） 11番、美濃良和君。

○11番（美濃良和君） 大体おっしゃる答弁から言ったら、非常にそういうふうな心配が残るわけでございますけれども、次に残土処理場についての質問に移りたいと思っております。

これにつきましては先ほど答弁いただきましたけれども、今現在も損傷しているところについてはいろいろと状況を見てみると、そういうふうなことでございます。ここの狭いところ、ですから今多分十分な調査なりしていただいているというふうに思いますけれども、狭い道なんですよね、非常に。ですから、道路はもちろん同じところを歩いて穴が開いてくる、それを待ってそのところと、それから周辺の家庭に対して非常に私たちが心配をするところなんです。常日頃から騒音とか振動とかってということで迷惑を

かけていると思うんですけども、それによって起こることについて、しょっちゅう調べているということでどんな調べ方をされているんですか。

先に言いましたように、桂瀬トンネルについての調査については、事前の発破が当然かかりますから、されておったと。そういうふうにするみたいですね。あのときの問題は、たまたまやっていたところなのに大きな被害が集中したので問題があったようなんですけども、どんだけのが把握できているのか、その辺はどうでしょう。

○議長（伊都堅仁君） 建設課長、米田君。

○建設課長（米田和弘君） 美濃良和議員の御質問にお答えいたします。

搬入出にかかる御迷惑につきましては、本当に申し訳なく感じております。道路であるとか周辺の状況の確認はどのようにしているか、どのように調査しているかということで御質問があったかと思えます。職員のほうが現地のほうに赴きまして、状況等々を記録するなり確認するなりして調査のほうは行ってございます。

また、桂瀬トンネルでのそれこそ騒音、振動の測定値であったりというお話も出たかと思えます。工事と道路につきましては、若干一緒に考えるのはちょっと乱暴なところはあるのかなとは考えております。工事の場合、工事を施工する前にそういった機器類の設置をやりまして、工事前後の比較を行っておるところではあります。

神野市場周辺について、実際事業を始めるときにやっつけてこそ比較の効果が得られるものであるかと思えますので、正確なデータとして今設置したとしても取れないものと考えております。

以上です。

○議長（伊都堅仁君） 11番、美濃良和君。

○11番（美濃良和君） 中途になってきていると、確かにそうなんですよね。当然、始める段階でいろんな調査をしておくということが一番大前提かというふうに思います。それで、しかしこれから後、あの搬入の時期というのはいつまでやるんですか。まだまだ前の説明では文化センターの敷地と同じぐらいのところまで積んでくると、そういうふうに見たらまだ1年やそこらではないというふうに思うんですが、その辺はどうですか。

○議長（伊都堅仁君） 建設課長、米田君。

○建設課長（米田和弘君） お答えいたします。

あとどのくらい利用するのかということでの御質問であったかと思えます。実際、今

令和5年の2月末ぐらいで、建設残土処理場の残りの容量は21万立米ぐらいであろうかと考えております。

とりあえず国交省につきましては、国交省の搬入予定のことまでということで、差し当たっては令和5年の7月まで国交省の分が搬入のほうでは多いと考えておりますので、契約のほうでは令和5年の7月末で国交省は一旦終了というふうには伺っております。

以上です。

○議長（伊都堅仁君） 11番、美濃良和君。

○11番（美濃良和君） そうすると、文化センターの敷地まで積み上げることもなく終わると。今の国交省のお話でしたけれども、県とかあと町もまだ事業は多少は残っているかというふうに思うんですけども、今後これはどこまでやるんですか。そうすると、時期としてはいつ頃までやるんですか。

○議長（伊都堅仁君） 建設課長、米田君。

○建設課長（米田和弘君） お答えいたします。

ちょっとややこしい答弁をさせていただいたかも知れないんですけども、建設残土処理場につきましてはそれぞれインフラ整備等々を行うに当たりまして、町ではずっと確保しておかなければならないものであるかと考えております。それで、建設残土処理場を仮置きとしましては、それこそ今国道370号線の整備等々もずっと進めておりますので、その工事が県につきましては終わるまで少なくとも利用されるかと考えておりますし、町のほうでは、それこそ工事を行うにつけて残土処分場、仮置き場というのは絶対必要になるかと思っておりますので、当面は活用していきたいと考えてございます。

以上です。

○議長（伊都堅仁君） 11番、美濃良和君。

○11番（美濃良和君） そうすると、大体いつ頃までをめぐりに考えておられるんですか。町として県も大きなところは。

○議長（伊都堅仁君） 建設課長、米田君。

○建設課長（米田和弘君） お答えいたします。

搬入の大きなところで言えば、国土交通省の土砂の搬入というのが大きい部分ではあるかと思っております。しかしながら、国土交通省の分につきましては去年ちょっと話し合いをした中で、あと国土交通省が入れられる量というのが、その話し合った時点で8万立米ぐらいだったと思っておりますので、今年度と令和4年、5年、もしかしたら6年になる

かもしれませんけれども、その辺りで何もなければ、おおむね国土交通省に示しておく搬入量というのは終了するかと思います。

あと、県の仮置きにつきましては、国道370号の整備工事に活用される部分ではあるかと思いますので、その工事が終了していくまで当面は続いていくのかなと考えております。そういったような形で御理解いただきたいと思っております。

以上です。

○議長（伊都堅仁君） 11番、美濃良和君。

○11番（美濃良和君） そうすると、課長さん言われるように令和6年ぐらいまでは当然やっていくことになってくるんですね。そうなってまいりますと相当まだまだダンプの交通も続くということで、今からでも十分に調査をしかんかったら、その辺はどうなんですか。

どんな調査を、先ほどから言っているように、例えば写真でその辺の異常がないのか、だから以前はこんな状態やったけれどもこんなになっているから問題があるというような、客観的にそういうふうなことが分かるそういう調査をされているのかどうか、それをもう一度聞きたいと思っております。

○議長（伊都堅仁君） 建設課長、米田君。

○建設課長（米田和弘君） お答えいたします。

そういった客観的に見る、よくあるのが振動測定器であったり水平測定器であったりになるかと思いますけれども、そういったものについては、設置する考えは今のところございません。

と言いますのも、工事と道路については全然違いますし、当然起因するものの特定がはっきりされない部分については、様々なこういった場合は要因があるかと思います。建物の構造上の問題であったり建物の基礎の問題、それから老朽化の問題も当然出てこようかと思いますので、なかなかその部分を一つ特定して測定器で測ったところで、正確なデータはなかなかとれないかなと考えております。

以上です。

○議長（伊都堅仁君） 11番、美濃良和君。

○11番（美濃良和君） しかし、何らかの形でそういうふうな客観的にそういう比較をするものがなければ、迷惑をかけた方に対して説明もできないことになるんじゃないですか。

○議長（伊都堅仁君） 建設課長、米田君。

○建設課長（米田和弘君） お答えいたします。

その部分につきましては、先ほど申しましたように資料、写真であったり現地確認であったり現地のほうで確認することによって、どういったものがもしかして原因になるのであるのかというような糸口になればいいのかなと考えております。

以上です。

○議長（伊都堅仁君） 11番、美濃良和君。

○11番（美濃良和君） それでは、次の消防の分署についてお聞きしたいと思います。

以前から言われているように、この財政的な面が非常に大きいので、なかなか分署ができないということでした。この議会の初めに、計画で今までの紀美野町とそれから紀の川市、それに次いで有田も入った計画がされていくということで提案がございましたけれども、広域的な面でのそういう面の前進というんですか、それはないんですか。そういうふうなことについてのお考えはないんですか。

○議長（伊都堅仁君） 消防長、家本君。

○消防長（家本 宏君） 美濃良和議員の御質問に御答弁をさせていただきます。

まずは、今の有田市参入の件ですが、それは指令共同に関するということでの計画でございます。消防の広域化ということに関しましては、まず県のほうの消防広域化の推進計画、これに基づいてというふうに考えておまして、県のほうでも現在再策定に向けての調整中というふうに聞き及んでおりますので、近々そういったものが公表されるであろうというふうに考えております。

以上、答弁とさせていただきます。

○議長（伊都堅仁君） 11番、美濃良和君。

○11番（美濃良和君） それから、いろんな面でうちとでもできるだけ町民の皆さん方に安心してやっていただけると、そういうことが大事であって、消防というのは本当に大事な業務であるかと思えます。でも、それについては十分にいろいろと御検討され、活動がされてきているというふうに思うんですけれども、もう実際のところ現状でドクターヘリがあるということで、ドクターヘリは救急救命士あるいは医師の指示で呼べるということでございますけれども、医師の指示、町内の医師の方が行ってそれについて呼ぶこともできると、そのぐらいしかないわけですか。

○議長（伊都堅仁君） 消防長、家本君。

○消防長（家本 宏君） ただいまの御質問に関して、ドクターヘリを呼ぶことができるケースという御質問であったかと思うんですが、当然のことながらドクターがドクターヘリをということであれば、私共に連絡をいただければ要請をすることもできます。また、現場に赴いた救急隊員が傷病者の状態からして必要であるというふうに判断した場合に要請することができます。

また、もっともっと以前に119番通報を受信した時点で、指令室員が相当緊急性を要する重篤な傷病者があるというふうに判断した場合にも、事前要請ということでドクターヘリの要請ができるといったようなかたちになっておりますので、いろんな状況に応じてできるだけ早期にドクターヘリを要請することはできます。

以上、答弁とさせていただきます。

○議長（伊都堅仁君） 以上で、美濃良和君の質問を終了いたします。

これで、一般質問を終わります。

以上で、本日の日程は全部終了しました。

お諮りします。

明日午前9時から会議を開きたいと思います。

御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（伊都堅仁君） 異議なしと認めます。

よって、そのように決しました。

散 会

○議長（伊都堅仁君） 本日は、これをもって散会します。

（午前 11時00分）